

# アモマツト® 保証規定

この保証規定は、本項記載内容で、別紙保証書内の記載の商品について、保証期間中に故障が発生した場合に、無償交換をさせていただくことをお約束するものです。尚、お買い上げ年月日、販売店などの記入もれがありますと、無効になりますので、必ずご確認いただき、記入のない場合は、お買い上げ販売店にお申し出ください。尚、保証書は、再発行いたしませんので、大切に保管してください。また、ヒーターの配置、床の構造や材質によって温度や使用感に影響が出ることがあります。その場合にはご了承ください。

## 1. 保証期間(故障が生じた場合は、お買い上げの販売店に申し出ください。)

- お買い上げ日より、10年間

## 2. 保証内容

- 取扱説明書・施工要領書・本体ラベル・外箱等に記載の注意書に従った正常な使用状態で、上記保証期間内に、保証書内に記載された商品に故障が生じた場合に限り、無償修理させていただきます。尚、修理が不可能な場合については、同製品または同等品と無償交換させていただきます。その他の物(当商品を施工した床材、壁材等)については、対象外とさせていただきますので、予めご了承ください。尚、その際には、代替品支給のみの対応で、工事費は対象外とします。また、輸送中の紛失、破損に関して弊社では責任を負いかねます。
- 初期不良については、商品到着後、2週間以内にご連絡をください。  
(メーカー側において確認をし、初期不良と認められた時に、故障した同製品または同等品を無償交換させていただきます。)
- 弊社の責任は、貴社に納品した当該製品の販売価格を上限とし、特別損害、通常損害をはじめ、直接的・間接的被害及び、拡大被害の賠償義務を負わないものとさせていただきますのでご了承ください。

## 3. 保証対象外事項(保証期間内であっても、次の場合には有償交換又は有償修理となります。また、修理期間中の貸出機、代替機はありません。)

- 保証書のご提示が無い場合。
- 別紙保証対象リストに記載あるヒーター以外のもの。(床材・壁材・配線資材・建築資材・消耗品等は対象外)
- 保証書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名・ヒーターのシリアルナンバー等の記入が無い場合。また、この保証は、本書のみ有効で、コピー、偽造等が認められた場合は、無効となります。
- 保証書の販売店の捺印及び、カメダデンキの社印がない場合は無効となります。その際は、すぐに販売店に申し出てください。
- コンクリート埋設を含む、屋外に床暖房ヒーターが設置された場合。
- 過酷な使用含む、使用上の誤り、または、不当な修理や改造による故障や損傷。
- 設置面の凹凸や他設備への隣接を含む、不適切な環境にヒーターが設置された場合。
- ヒーターが設置された床面に、家具、重量物、発熱性の機器または、敷物など放熱を妨げる覆いが置かれた場合。
- 火災、公害、異常電圧、異常周波数及び、地震・雷・風水害その他天災地変等、外部に要因がある故障や損傷。
- 車両・船舶等に搭載された場合に生ずる故障や損傷。
- 施工上または、施工後の不備に起因する故障や損傷及び、不具合。または、建築躯体の変形等、保証対象リストに記載があるヒーター以外の不具合による故障や損傷。
- 無資格者による施工が発覚した場合。
- 振動、粉じん、及び、高温多湿の環境下、また、塩害や腐食性ガス及び、可燃性ガスなどの影響を受けるところで保管または使用した場合。尚、設置後、それらの影響があると判断されたときも、保証対象外とさせていただきます。(設置する前にご確認をお願いします。)
- 施工上または、施工後の作業による汚れやキズ。また、自然特性或いは、経年劣化に起因する故障や損傷。
- 設置後の点検・調整等に係る費用。
- 無料交換後、交換した故障品に対して、保証対象内の故障・損傷・不具合が確認できなかった場合。(尚、お客様より不具合品として報告があったヒーターで、メーカー側での点検で不具合が確認されなかった時は、点検作業費及び、代替品代が発生し、有償となります。)
- その他、交換が認めがたい行為が発見された場合。

## 4. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。

## 5. 完成品検査について

- 各ヒーターの電気抵抗を測定してください。ジャンクションボックスに結線後、対地絶縁を測り、床材、壁材等の取り付けを行ってください。床材の取り付け後、ジャンクションボックスの結線部の対地絶縁を測ってください。

## 6. 販売店・設置工事業者様へ

- 表面の「販売店様」及び「施工責任者様」には、必ず、記名、捺印し、各検査項目およびシリアルナンバーのご記入をお願い致します。
- この「完成検査表」は、株式会社カメダデンキまたは代理店様までご送付をお願いいたします。

# 安全にご使用いただくために

## 1. 使用環境・使用条件

- ① 振動、粉じん、及び、高温多湿の環境下、また、塩害や腐食性ガス及び、可燃性ガスなどの影響を受けるところでの保管や使用はお避け下さい。誤って保管または使用しますと、漏電・感電・火災などの原因となります。
- ② 特殊な用途(乗物・医療器具・機械類・家具および電磁波に敏感な検査装置を設置する場所への組込など)には使用しないでください。誤って使用しますと、事故や故障の原因となります。
- ③ 浴室・シャワー室・脱衣場等、多湿の環境に設置する場合、または金属製の台所シンクから 50 cm以内に設置する場合には、オプションの接地ネットをヒーターの上に敷設してください。また、接地ネットはアース線に接続してください。誤って施工しますと、感電などの原因となります。
- ④ 床暖房の電源は、専用の漏電ブレーカーに接続してください。ブレーカーおよび電線は、床暖房の消費電流に見合った規格のものを選定してください。誤って施工しますと、電気設備の過熱・感電・火災などの原因となります。
- ⑤ 床暖房コントローラの定格電圧、定格電流の範囲内になるようヒーターを接続してください。コントローラの定格容量を超えてヒーターを接続しますと、コントローラの故障の原因となります。
- ⑥ 壁や間仕切りの下、あるいはキャビネット、便器、シンク、パスタブなど屋内備品の下に設置しないでください。誤って施工しますと、漏電・感電・火災などの原因となります。
- ⑦ ヒーターや電線を敷設した箇所は、釘やビスで傷つけないように注意してください。

## 2. 使用方法

- ① 床暖房ヒーターはコントローラで温度調整できるよう、温度センサを適切な位置に設置してください。
- ② 床暖房ヒーターを設置した場所には、熱抵抗値が 2.0Tog を超えるカーペットは敷かないでください。

## 3. 設備・施工

- ① ヒーターまたはコントローラの改造や、部品の変更・追加は絶対に行わないでください。
- ② ヒーターおよびコントローラの結線作業を行う際は、必ず有資格者により工事を行ってください。
- ③ 床暖房ヒーターは、壁面から 10 cm以上離し、隣接するヒーターどうしは発熱体が 5 cm以上離れるように敷設してください。
- ④ ヒーター同士が重ならないように設置してください。また電線はヒーターの発熱部を避けて敷設してください。
- ⑤ ヒーター敷設の際は、発熱リボンを下に、ガラス繊維メッシュを上向きにしてください。
- ⑥ アモマットの電線は専用のジャンクションボックスに引き込み、給電ラインに対して並列に接続してください。
- ⑦ ヒーターをモルタルに埋設する場合、モルタルが十分乾くまでは暖房運転行わないでください。
- ⑧ 接地ネットを床暖房ヒーターの上に敷く場合は、ずれないようにテープ等で固定してください。

## 4. 保守・点検

- ① 床暖房ヒーターに給電するブレーカーがトリップした場合は、必ず電気工事士による原因調査と適切な補修工事を行ってください。
- ② ブレーカーの耐用年数は通常 10 年から 15 年といわれていますが、使用環境で変わりますので適宜交換してください。